

呉市制 120 周年・開館 40 周年記念「呉の美術―激動の時代を越えて―」展
開催記念講演会

「芸南の風土と美学」

講師：金田 晋（東亜大学特任教授、広島大学名誉教授、元蘭島閣美術館名誉館長）

日時：2023（令和 5）年 1 月 15 日（日）13：30～14：30

会場：呉市立美術館 地階講座室（呉市幸町入船山公園内、TEL. 0823-25-2007）

定員：30 名（当日先着順） ※ ご参加には当日の入館券が必要です。



金田 晋先生

『美術ひろしま 2002』（財団法人
広島市文化財団、2002 年）p3
より転載

講師の金田 晋先生は、大阪府出身で、東京大学で美学を専攻され、文学博士号を取得。1969 年以来広島大学で教鞭を採り、助教授・教授を歴任されました。

専門の現象学的美学・造形美学の現象学の分野で研究を重ねる一方、広島地域美術に着目し、広島芸術学会の会長を務めるなど、その普及・振興に尽力し、中国文化賞（中国新聞社）、広島県教育賞（広島県教育委員会）、地域文化功労者（文部科学大臣表彰）などによりその業績が顕彰されました。

このたびは、呉・広島など瀬戸内の風土に育まれた美意識―創作活動の根底となる思想・地域性―について、ご専門の美学の視点からご講演をいただきます。

当地出身の南薫造、其阿弥赫土、平山郁夫ら美術家だけでなく、通常美術館では取り上げられることのない美学者たち、中井正一（竹原出身、元・国立国会図書館副館長）や金田民夫（呉出身、元・同志社大学教授）、香川不苦三（元・広島修道大学学長）等についてお話しを予定されています。

私達、瀬戸内人^{せとうちじん}の美意識について、考えてみませんか？